

白石歴史年表

西暦 年号・月 できごと

明治

- 1868 元 9 仙台藩が戊辰戦争に敗れる P 9
- 1869 2 6 片倉家臣団、傑山寺に集合し、北海道移住を決議する
- 8 蝦夷地は北海道と改称される
- 1871 4 3 旧白石藩士 600 余人、北海道移住開拓使貫属を命じられる P 9
- 9 旧片倉家臣咸臨丸と庚午丸で松島湾寒風沢を出発。咸臨丸は上磯郡泉沢村沿岸で破船 P 9
- 10 咸臨丸乗船者を庚午丸に乗せ函館を出航、小樽に着く。陸路石狩へ移動 P 9
- 11 望月寒に入植。短期間で小屋掛けを終える。それを岩村判官が讃え、白石村と命名する P 12



咸臨丸は木古内の岩礁に座礁した



小樽から張碓の難所を越えて石狩へ

- 1872 5 3 善俗堂を建てる P 18
- 4 本府通開削（現在の豊平神社～国道 12 号～白石神社までの 5.1 ㎞） P 20
- 4 札幌神社遙拝所（後の白石神社）を建てる P 24
- 現在の中央 1 条 1～2 丁目に入植した 18 戸が浸水のため横丁（現在の米里行啓通）に移転 P 20
- 白石中央墓地の造成が認められる P 26
- 1873 6 5 26 戸が白石村から移住し新白石村ができる
- 9 新白石村が上白石村となる
- 10 開拓使札幌本庁舎完成
- 1874 7 2 樽前山が噴火、村にも灰が降る。札幌は不景気と相まって帰郷者が続く
- 製糸場伝習工養成のため、開拓使は白石藩士の娘 3 人（11～13 歳）を本州の富岡製糸場に 2 年間派遣する
- 東京官園から梅、サクランボ、桃、リンゴなど 4,700 本を開拓使敷地に移植 P 28
- 1875 8 この年から 14 年までに白石村に果樹苗木が開拓使から配付される P 28
- 1878 11 菊亭脩季侯爵が来道 P 38
- 1879 12 1 開拓使札幌庁舎が火事で焼失
- 6 北郷に岩手県人稲垣岩松が入植する
- 大雪のため、全道の鹿が絶滅しかかる P 30
- 1880 13 1 幌内鉄道着工
- 3 五力村戸長役場が上白石 14 番地に置かれる P 16
- 白石本通墓地造成 P 27
- 1881 14 4 善俗堂が公立白石学校となる P 18
- 14 豊平川鉄橋完成 P 72
- 1882 15 2 北海道が札幌・函館・根室の 3 県に分けられる
- 11 幌内鉄道が開通。白石には仮停車場が設置されたが翌 16 年に廃止された P 32



幌内鉄道を走った義経号



白石仮停車場



豊平川鉄橋

- 1883 16 南郷に岩井沢七兵衛が入植する。イナゴの大群来襲、16 年も続く
- 開拓以来の大干害だったが、白石村中央と厚別の湿地で水田試作に成功する P 34
- 信州信濃（長野県）から 8 戸が厚別の開拓に入る
- 1884 17 7 北郷に鈴木煉瓦製造所ができる P 36
- 1885 18 11 元白石村貫属ら、ようやく土族籍に編入される

西暦 年号・月 できごと

			宇都宮仙太郎が大分県から北海道に渡り、真駒内牧場実習生となる P 44
			大谷地、野津幌、下野津幌の開拓が始まる
1886	19	1	三県制を廃止し、北海道庁を置く。この年、コレラ・天然痘が流行し、本道の死者約3,000人に上る
		9	旧華族・菊亭脩季が上白石村で農園を始める P 38
1887	20	年末	白石村 189 戸、人口 866 人となる
1888	21	12	白石産レンガを使った道庁庁舎が完成
1889	22	11	札幌 - 白石 - 江別間の江別道路（現在の国道 12 号）が開通
		12	北海道炭鉱鉄道が開拓使から幌内鉄道の払い下げを受ける
1890	23	11	東橋が完成し、札幌への往復が非常に便利になる P 72
			米里に本城春蔵らが入植し開拓始まる
1891	24	10	札幌に初めて電灯がつく
		10	白石・上白石ほか3村が連合して札幌農会を創設。札幌に北海道果樹協会が設立される P 28
			吉田善太郎が大谷地一帯に灌漑用水路を造る P 40
1893	26	4	上白石稲作試験場が設立
1894	27	1	豊平外三ヶ村聯合用水組合設立 P 42
		8	日清戦争が始まる
			逆川に米里水門が設けられる P 22
1895	28		中澤八太郎が川下地区で暗渠排水による水田を始める P 48
1896	29		月寒に独立歩兵大隊が新設。有島武郎、札幌農学校に編入学 P 52
1897	30	4	白石・上白石両村戸長役場が47番地に置かれる P 16
		9	札幌神社遙拝所が正式に白石神社と命名される P 24
			白石・上白石両村の戸数 1,203、人口 4,654 人
1899	32	10	札幌・函館・小樽に区制がしかれる
1900	33	4	上白石尋常小学校開校 P 18
1902	35	2	白石郵便受取所が開設される
		4	白石村は上白石村を合併、二級村になる P 16
		6	宇都宮牧場が上白石に開設 P 44



菊亭脩季侯爵が農場を経営する



鈴木煉瓦製造場



宇都宮牧場が菊水に開設



宇都宮仙太郎が菊水に牧場を開く

			白石本通墓地の設置が正式に認められる P 27
1903	36	4	白石駅開業 P 32
1904	37	2	日露戦争始まる
1905	38		独立歩兵大隊が白石駅前から連隊通を造る P 64
1906	39	3	鉄道国有法公布
1907	40		札幌酪農組合設立 P 44
1909	42	1	道庁庁舎が焼ける
		3	有島武郎、結婚して上白石2番地（菊水1-1）に住む P 52
1909	42		西岡水源池が月寒歩兵第25連隊によって造られる P 46
1910	43	4	上白石村の一部（菊水地区）を札幌区に編入
1912	45	3	札幌に初の映画常設館・第二神田館が開設。白石村でも評判になる
		7	白石開村碑を建立する

大正

1913	2	4	江別町小野幌地区を編入
		8	27, 28 日の暴風雨で水田反収平均わずか 6 割
1914	3	7	第一次世界大戦始まる
1916	5	4	白石村青年団が結成される P 62
1917	6	4	江別町の一部を編入する
		10	豊平川渡船場（伴の渡し）設置 P 74
1918	7	8	札幌、小樽で開道 50 年記念博覧会が開かれる



有島武郎が菊水に住む

西暦 年号・月 できごと

10 札幌に初めて電車が走る
白石 - 定山溪間に鉄道開通。定山溪温泉が栄える P 32
この年から9年にかけて札幌遊郭（通称白石遊郭）が薄野から移転 P 54



大正12年の遊郭太田楼



昭和19年の健康優良娼妓表彰記念写真

1919 8 8 白石村電灯組合ができ電灯がともる
1920 9 4 ニシン空前の大豊漁
9 白石神社境内に開村50年記念碑建つ
1922 11 1 白石村初代戸長佐藤孝郷72歳で死去 P 11
8 札幌・函館・小樽・旭川・室蘭・釧路区が市になる
この年から2年にわたり冷害凶作が続く。鈴木煉瓦製造場廃業 P 36
1923 12 一条大橋完成。P 72 関東大震災発生
1924 13 北郷倶楽部建築
1926 15 8 苗穂 - 苫小牧間の北海道鉄道が開通。村内に東札幌、月寒、大谷地、上野幌の駅ができる P 56



北海道鉄道が開通

昭和

1927 2 上白石村の菊亭脩季所有地を北海道炭鉱汽船株式会社が買収、区画整理して分譲 P 38
宇都宮牧場が上白石から上野幌に移転 P 44
1928 3 6 札幌中央放送局が開局
7 瑞穂の池ができる
南郷倶楽部建築。本通倶楽部が耐火レンガにより建築 P 62
1929 4 明治12年以来の大雪に見舞われる
1930 5 上白石橋完成 P 72
1931 6 7 札幌・小樽両市で北海道拓殖博覧会が開かれる。この年から2年にわたる異常冷気と水害で凶作が続く
苗穂駅始発東札幌駅経由で定山溪鉄道を利用できるようになった P 32



上白石橋

1932 7 6 一級町村制敷かれ白石村は一級村となる P 16
1933 8 5 白石消防組が設立
白石果樹組合設立 P 28
1934 9 冷害に見舞われ全道の米生産が117万石にとどまる
1936 11 9 本道初の陸軍大演習統裁のため天皇がご来道
横町倶楽部建築 P 62
1937 12 7 日華事変が始まる
7 北海道博覧会が札幌、小樽で開かれる
1938 13 8 開道70年記念祭が札幌で開催される
8 農地調整法が実施される
10 白石に全国2番目の石炭坑爆発予防試験所を設置 P 58
一条大橋が鋼鉄製永久橋となる P 72



果樹組合が設立される

1939 14 4 白石警防団が設立される
7 国民徴用令が公布される
10 白石商業組合が設立される
1940 15 7 米麦などの主食が配給制度になる
1941 16 2 定山溪鉄道の白石・東札幌間の旅客輸送を廃止 P 32
4 小学校が国民学校になる
12 太平洋戦争に突入する
1942 17 1 農業生産統制令が公布される
豊平川渡船場（伴の渡し）落合橋完成に伴い廃止 P 74
1943 18 11 道内11の日刊新聞社が合併、北海道新聞社となる
1944 19 3 料理屋、飲食店などの営業が禁止される

西暦 年号・月 できごと

	10	現在の白石区役所の位置に陸軍兵器補給廠ができる P 64
1945	20 5	吉田診療所が開所、75年間の無医村が解消される P 66
	7	緊急開拓者が、東京から北郷と東米里に入植 P 68
1945	20 7	アメリカ軍が本道を初空襲。白石村にも来襲する
	8	終戦
	10	アメリカ軍本道に進駐。白石村にも一部が入る
1946	21 11	改正農地調整法が施行される
	12	自作農創設特別措置法が実施される
1947	22 4	学校教育6・3・3・4制が実施される。農地解放が行われる 新選挙法による村長選挙が行われ、初代公選村長に伊藤作一当選



戦後の兵器補給廠は一時釘工場として使われ、借りていた農地は地主に返還された



吉田診療所が開設して無医村が解消された。下は吉田医師



1949	24	村内の8開拓団地に153戸が入植
1950	25 7	札幌市に白石村全村が編入。村役場は札幌市白石支所となる P 16
	8	豪雨のため北郷、東米里一帯が被災する
1951	26 12	白石支所が札幌市白石町出張所と改称。白石支所厚別分室が札幌市厚別出張所として独立 東橋が鋼鉄製永久橋となる P 72
1952	27 10	農地調整法が廃止され、新たに農地法が施行される
1956	31 5	白石区町内会連合会が設立される
	5	長浜万蔵ら11人が本郷の農地を開放、白石発展の端緒となる
	4	国道12号の舗装が始まる
1957	32 4	白石町婦人団体連絡協議会が結成される
1958	33	白石遊郭廃止 P 54
1960	35	リンゴ園の宅地化進み白石果樹組合解散 P 28
1961	36	豊平外三カ村聯合用水組合解散 P 42
1962	37 8	台風9号で村内の被災165戸に上る
1963	38 9	道道白石停車場線改修舗装工事が完成
1964	39 3	この年から41年までに北都団地を造成 P 70
1965	40	この年月寒川、翌年望月寒川改修に着手 P 14
1966	41	白石中央墓地の移転始まる P 26
1969	44	定山溪鉄道廃止 P 32
1970	45 8	旧白石村地区の世帯数43,482、人口141,089人
1972	47 4	政令指定都市へ移行、白石区誕生
		上白石橋が鋼鉄製永久橋となる P 72
1973	48 10	白石区の木と花を「ポプラ」と「バラ」に決定 国鉄千歳線が新路線に切り替え P 56
1976	51 6	地下鉄東西線開通
		月寒川に洪水対策のための排水機場完成 P 68
1985	60 12	第二白石区体育館（現 白石区体育館）完成
1986	61 4	白石区の木に「ナナカマド」が加えられる
1989	1 11	分区により白石区の東部が厚別区に
1997	9 3	東札幌図書館オープン
1998	10 3	白石区まちづくりビジョンが策定される
1999	11 7	川下公園オープン



河川改修が進むまでは米里地区にこういう情景が繰り返された